Naha City Public Health Center

初めて保健所で
検査を受けられる方へ

那覇市保健所

（令和７年３月改訂）

那覇市保健所ホームページもご覧ください

今日の検査を受けるきっかけとなった出来事は何ですか？

新しいパートナーができた。

コンドームなしでの性交渉があった。

風俗店を利用した。

気になる症状がある。

他の性感染症に感染していた。

見知らぬ人との性交渉があった。（マッチングアプリなど）

念のため。

知人から勧められた

風俗店で働いている

定期的に検査を受けている。

ホームページや広報を見て気になった

パートナーが浮気をしていた・感染していた。

など

性感染症とは

- 性感染症（STI; Sexually-transmitted Infections）とは、性的接触を介して感染する感染症のことです。
- 那覇市保健所では、無料・匿名で性感染症のうちHIV・梅毒・性器クラミジア・淋菌の検査を実施しています。
- 性感染症は、不妊の原因となったり、神経や心臓などに深刻な合併症や後遺障害を残したりすることもあります。また、粘膜が傷つくことにより、HIVなどの他の感染症に罹りやすくなることもあります。
- 不安に感じたら検査を受けることが大切です。

＜感染経路＞

性行為による感染

- 性的接触により、性器だけでなく、血液・精液・膣分泌液などの「体液」と、性器や肛門・口・傷口などの「粘膜」の接触があれば感染の危険があります。
- 膣性交だけでなく、オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染します。

- 最も多い感染経路は性的接触ですが、下記の場合もあります。

血液を介しての感染

覚せい剤などの依存性薬物の“回しうち”による注射器具の共用や針刺し事故などによって感染します。

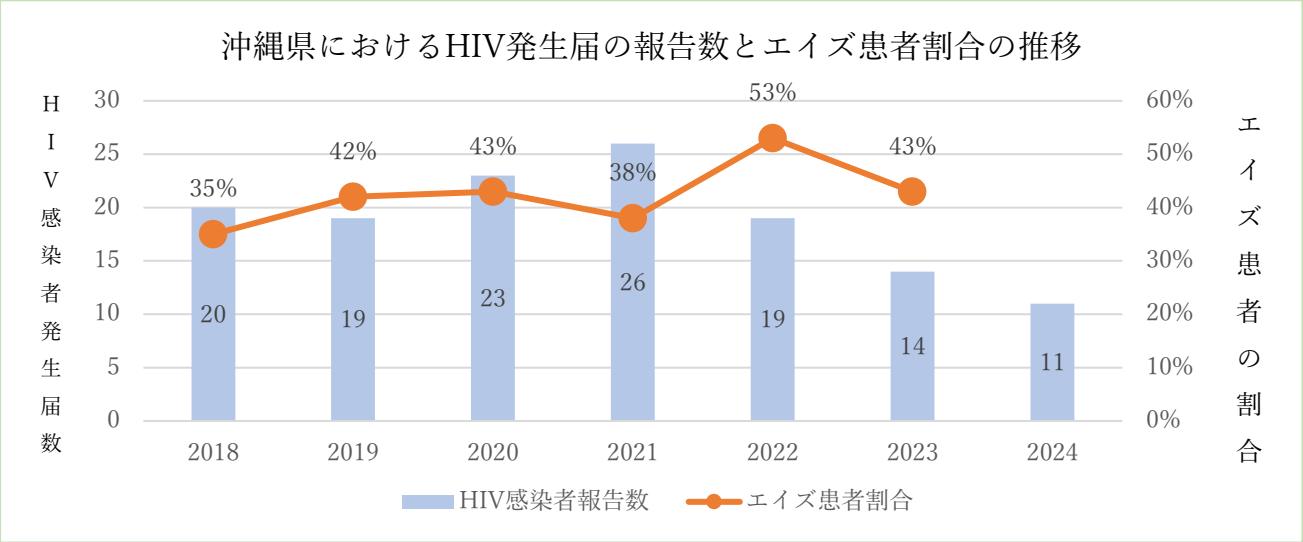
母親から赤ちゃんへの母子感染

母親が HIV に感染している場合、妊娠中や出産時に赤ちゃんに感染することがあります。

HIV/エイズ

＜概要＞

- HIV は、ヒト免疫不全ウイルスのことです。
- HIV/エイズの感染者は、日本でも沖縄でも、毎年、発生届が挙げられています。



※参考資料
沖縄県感染症情報センター疾病分類別報告数(2025 年第 10 週時点)

＜こんなことでは HIV に感染しません＞

- 握手をする
- 軽いキスをする
- せき、くしゃみ、汗、涙にふれる
- 飲み物の回し飲みをする
- 同じ皿の料理を食べる
- トイレの便座にふれる・使用する
- つり革にふれる
- ノミや蚊に刺される
- プールやお風呂に入る
- 国内の医療機関、美容院、理容院の器具を使用する

＜症状＞

- HIV に感染すると、数週間以内にインフルエンザに似た症状が出ることがあります。自覚症状のない時期（無症候期）が数年～10 数年続きます。
- HIV に感染し、治療しないままでいると、免疫の中心であるヘルパーT リンパ球やマクロファージ（CD4 陽性細胞）などが破壊され、免疫力が低下します。
- 免疫力が低下し、日和見感染症などを発症するようになるとエイズと診断されます。
- 日和見感染症とは、免疫力が低下すると出現する感染症で、カンジダ症、ニューモシスティス肺炎などがあります。また、抵抗力が下がることで悪性リンパ腫やカポジ肉腫などの腫瘍を発症することもあります。

＜検査＞

- 那覇市保健所では、採血し、HIV 抗原抗体検査を行います。
- 感染してから抗体が検出できるまでの期間（ウインドウ期）は、3か月です。よって、感染していても検査で陽性とならないことがあります。

＜治療＞

- 現代の医学でも HIV を完治することはできません。
- 医療機関を受診し、抗 HIV 薬を正しく飲み続けることで、ウイルスの増殖を抑え、エイズの発症を防ぐことができます。
- 必ずセックスパートナーと一緒に治療を受けましょう。

●HIV の新たな概念「U=U」（ユーイコールユー）

検査を受けて自らの感染を知り、早く治療を始めることで、HIV に感染しても、治療によりウイルス量が検出限界以下になっている状態が6カ月以上続いていれば（Undetectable）、実質的に他者に HIV を感染させることはない（Untrans-mittable）という概念です。

＜社会保障＞

- HIV と診断された場合、高額医療費制度などの医療費の負担を軽減できる制度があります。
- 身体障害者手帳を申請することで、自立支援医療や障害福祉サービスなどを利用することができます。
- HIV になっても就労を続けることができます。その業種も様々で、障がい者雇用や就労訓練などの制度もあります。

●UNAIDS の掲げる 2025 年までの目標

「95-95-95 ターゲット」

国連加盟国が 2025 年達成を目指すエイズ対策の共通目標です。

- HIV 感染者の少なくとも **95%**が自分の HIV 感染を知る
- 自らの感染を知っている HIV 陽性者の少なくともと **95%**が治療を受けている
- 治療を受けている HIV 感染者の少なくとも **95%**は体内のウイルス量が抑制されている

「3つのゼロ」

♦差別**ゼロ**　♦新たな HIV 感染**ゼロ**　♦AIDS 関連死**ゼロ**

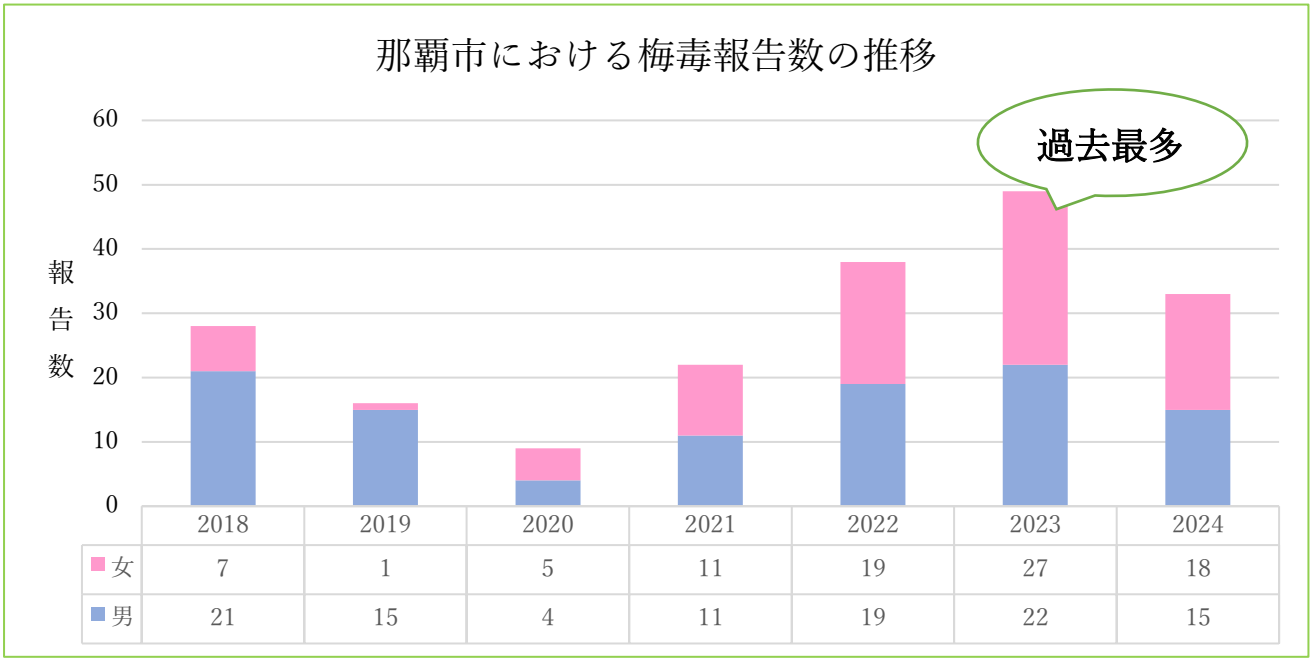
梅毒

＜概要＞

- 梅毒トレポネーマによって、感染します。
- 梅毒は、性器や口などの粘膜に直接触ること、コンドームで覆うことができない部分、キス等でも感染します。
- 梅毒は、症状が軽くなったり一時的に消えたりする時期があるため、感染に気付きにくく、治療の開始が遅れてしまう危険があります。

先天梅毒とは？

女性が妊娠中に梅毒に感染すると、おなかの中の赤ちゃんにも感染することで起こります。生後数カ月以内に発疹や骨に異常が出たり、数年後に目の炎症や難聴などが出たりすることもあります。



	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
女	7	1	5	11	19	27	18
男	21	15	4	11	19	22	15

＜症状＞

- **Ⅰ期　感染後約3週間**

感染が起きた部位（陰部やくちびる、口の中、肛門など）にしこり（初期硬結）やただれ・潰瘍（硬性下疳）が出ます。股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることもあります。

痛みがないことが多く、気づかない場合もあります。

治療をしなくても、症状が消えますが、体内から病原体がいなくなったわけではありません。

- **Ⅱ期　感染後数か月**

痛みやかゆみがない、3～10 ㎜程度の赤い発疹（バラ疹）が、手のひらや足のうら、体中に広がります。

治療をしなくても症状が消えたり、再発を繰り返したりし、皮膚や内臓で静かに進んでいきます。

- **晩期顕性梅毒（感染後数年から数十年）**

治療をしないまま数年が経過すると、皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍（ゴム腫）が発生することがあります。

心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ（神経梅毒、心血管梅毒など）、時に死にいたることもあります。

※ 必ずしもこの症状をたどるわけではなく、Ⅰ期とⅡ期の症状が同時に出たり、神経梅毒が早期に出たりします。

〈検査〉

- 那覇市保健所では、採血し、RPR 検査（初期の急性期感染等）と TPHA 検査（既感染）を行います。
- 感染してから抗体が検出できるまでの期間（ウインドウ期）は、1～2か月です。よって、感染していても検査で陽性とならないことがあります。

＜治療＞

- 医療機関を受診し、ペニシリン系などの抗生物質（飲み薬・注射）で治します。だいたい3～4週間かかります。治療の初めに発熱することがありますが、1～2日間でおさまります。
- 治療をしても、何回でも感染します。
- 必ずセックスパートナーと一緒に治療を受けましょう。

性器クラミジア感染症

＜概要＞

- クラミジアトラコマチスによって感染します。
- 感染者数が一番多い性感染症です。

＜症状＞

男性
- ・おしっこをした時の軽い痛み
- ・尿道からうみが出たり、かゆくなる
- ・症状のある人は半分くらい
- ・精巣のあたりが腫れて熱が出ることがある
- ・不妊の原因になることもある

女性
- ・症状はほとんどない（初期のおりものや軽い下腹部の痛み程度）
- ・のどの違和感を起こすことがある
- ・進行すると不正出血や性交した時の痛みがある
- ・不妊の原因になったり、妊娠中だと早期流産になることもある

＜検査＞

- 那覇市保健所では、男性は尿、女性は膣分泌液で PCR 検査します。

＜治療＞

- 医療機関を受診し、抗生物質で治します
- 治療をしても、何回でも感染します
- 必ずセックスパートナーと一緒に検査・治療を受けましょう

淋菌感染症

＜概要＞

- 淋菌によって感染します

＜症状＞

男性　・おしっこをした時の激しい痛み

・尿道からやや黄色い白みがかったうみが出る

・精巣のあたりが腫れて熱が出ることがある

女性　・おりものが増える、熱が出る、下腹部の痛みが出る、のどの違和感を起こすことがあるが、症状がないこともある

・進行すると不正出血や性交した時の痛みがみられる

・不妊の原因になることもある

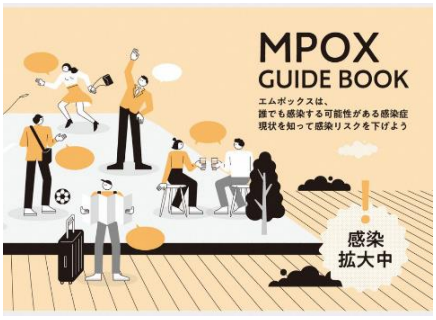
＜検査＞

- 那覇市保健所では、男性は尿、女性は膣分泌液で PCR 検査します

＜治療＞

- 医療機関を受診し、抗生物質で治します。
- 治療をしても、何回でも感染します。
- 必ずセックスパートナーと一緒に検査・治療を受けましょう

HIV や性感染症に関するサイトのご紹介



性感染症を防ぐために

◎ 不特定多数や見知らぬ相手とは性行為をしないことも予防になります。

◎セックスパートナーがいれば、一緒に検査を受けましょう。

二人とも性感染症に感染しておらず、お互いに他の性交渉の相手がいなければ、二人の性行為は安全です。

◎ コンドームの使用は、避妊だけでなく、性感染症予防にも効果があります。

膣性交だけでなくオーラルセックスやアナルセックスのときも相手の精液・膣分泌液とあなたの粘膜（性器や肛門、口腔）が直接接触しないよう、コンドームを適切に使用しましょう。

コンドームの正しい使用のしかた

コンドームは粘膜と体液（精液・膣分泌液）の接触を避けるためには最も有効な防具ですが、つぎのことに注意しながら正しく使うことが大切です。

①爪を立てないようにして精液だめの空気をぬく

②勃起したペニスの皮を根元までたぐりよせる

③コンドームを途中まで巻きおろす

④かぶせた部分を亀頭部分によせ、根元であまっている皮膚がはるようにしてコンドームを根元までおろす

⑤射精したら、コンドームがはずれないように根元をおさえながらペニスをぬく

⑥口をしばって捨てる

※袋からとり出すときなど、爪を立てて傷つけると破れることがあるので丁寧に扱う
※一度使用したコンドームは捨てる（つけるのに失敗したコンドームも使わない）
※コンドームは熱に弱いので、高温になるところ（車のなかなど）に置かない
※コンドームは圧力や摩擦にも弱いので、財布や定期入れなどに入れない
※潤滑剤を使用するときは水性のものを選ぶ（油性のベビーオイルなどを使うと破れやすくなる）
※防虫剤といっしょに保管しない（薬品が小袋を浸透しラテックスと化学反応をおこして破れやすくなる）
※使用期限を守る（箱に記載されている）

◎ 心配な“感染の可能性のある行動”があれば、性感染症の検査を積極的に受けましょう。性感染症の検査は、他の保健所や医療機関でも実施しているところもあります。ご自身で定期的に検査を受けている方もいます。

◎ 気になる症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

〈引用・参考資料〉

- 財団法人　エイズ予防財団「HIV/エイズの基礎知識」
- 「保健所等における HIV 即日検査のガイドライン第 4 版」
- 日本性感染症学会「梅毒診療ガイド（第2版）」
- 厚生労働省ホームページ「性感染症」
- 政府広報オンライン「梅毒患者が急増中！検査と治療であなた自身と大切な人、生まれてくる赤ちゃんを守ろう」
- エイズ予防情報ネット（API-Net）
- 東京都性感染症ナビ